

愛知県社会福祉協議会が主催する「福祉体験作文コンクール」の入選作品が発表されました。県内の小中学校および高等学校から200編の応募があり、入選26編のうち一宮市から2編が優秀作品に選ばれました。みなさんの力作は本会のウェブサイトに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



## 入 選 者

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 一宮市立中島小学校   | 3年 水野 陽遥 さん「一二〇センチの世界」  |
| 一宮市立尾西第一中学校 | 2年 土井 未彩 さん「ボランティアへの一步」 |

(令和2年度時点の在籍学校・学年)

## 障害者スポーツの紹介 水泳

水泳では競技中の一連の動きをサポートするために、医師の診断をもとに選手がクラス分けされるのが特徴です。それぞれ、障害や泳法にあわせた配慮が規定されています。たとえば、スタート時に補助員が身体を支える、あるいはベルトやひもを用いることが認められる場合があります。他にも、聴覚障害のある選手にスタートを知らせる合図(シグナル)や、視覚障害のある選手にターンの位置を示す棒が使われます。両手でのターンが難しいときは、頭や上半身の一部をつけて折り返します。このように、ルールや用具が状況に応じて柔軟に変わっていくことが、競技の公平性の維持につながっています。



車いす使用の職員発信

## 車いすと いっしょに

### 第13回「感染予防のために」

新型コロナウイルスはいまだ終息せず、日々感染予防の心掛けが欠かせない状況が続いています。本部の窓口にも、手押し式のアルコール消毒液や、体温計測機を設置しています。

ところで、最近外出先で、ペダル式の消毒液を見かける機会が多くなりました。車いすで生活している私は、戸惑いながらも使ってみることにしました。体重をできるだけ前にかけて、膝を片手で持って足をペダルに置くと、消毒液が出ました。想像より踏む力が必要で、時間もかかりました。一方、体温計測でも苦労したことがあります。立って使う体温計測機ではカメラの高さが合わず、つかまり立ちで測るのが精いっぱいです。しかし、手持ち式の温度計であればスムーズに測れます。こまめな対策が必要だからこそ、その人にあわせた負担の少ない方法が選べると良いと感じました。(小鹿)

